

2016年4月21日

各 位

インヴァスト証券株式会社
(JASDAQ コード: 8709)
問合せ先: マーケティング部 03-3595-8907

1万円から世界に投資が可能
インヴァスト証券
世界初のETF特化型証拠金取引「トライオートETF」
2016年4月25日 サービス開始

~ 差金決済を導入し、海外ETFでも元本の為替リスクを排除 ~

インヴァスト証券株式会社 (JASDAQ 上場: 8709) は、2016年4月25日 (月) に一般投資家向けの資産運用サービス「トライオートETF」をリリースいたします。

■ トライオートETF開発の背景

マイナス金利やアベノミクスによるインフレ時代の到来により、昨今、個人に向けた資産防衛策としてフィンテックを活用した新しい資産運用サービスが続々と生み出されています。こうした時代背景のなか、インヴァスト証券では、自動売買やデリバティブといった独自の経験や強みを活かした新しい金融サービスの提供を構想してまいりました。そして、近年、最も成長している金融商品の一つであるETF (上場投資信託) を対象とした資産運用サービスをオンラインで提供させていただき運びとなりました。

■ 「ETF」に特化した理由

世界の市場規模は10年で7倍に拡大。しかし日本での認知率は僅か6%という事実

ETF (上場投資信託) は、近年、米国の年金基金や中立的な立場で資産運用のアドバイスを行うフィナンシャルアドバイザーなどから注目を集めており、下記のような特徴を兼ね備えた金融商品です。

- 低コストで運用できる
- 運用の透明性が高い
- 売買の自由度が高い
- 投資対象が多様性に富む

ETFの世界での市場規模はこの10年間で7倍に拡大しており、約300兆円の純資産残高 (※1) を誇る金融商品に成長しています。日本の投資家層にもETFの存在は広まりつつありますが、その認知率は僅か6%程度 (※2) と非常に低水準であることも明らかになりました。この結果を受けて、ETFが日本において非常に過小評価されている金融商品であり、今後、有意義な資産運用法の一つになり得ると判断いたしました。

トライオートETFの特徴

1. 国内外の世界選抜ETFが1つの口座で管理可能
2. 差金決済の仕組みを導入し、海外ETFでも元本の為替リスクゼロ
3. マニュアル売買手数料、両替手数料、取引ツール利用料、口座管理料が全て無料
4. 1万円からはじめられる

■日本の一般投資家が抱える課題を解決したトライオート ETF

しかし、日本の一般投資家が世界で人気を集めている ETF を購入するには大きな課題が 2 つあります。

- 第一に、海外に上場している ETF と全く同じ ETF が日本の取引所に存在しないこと
- 第二に、海外に上場している ETF を直接購入する場合、高い手数料を支払い現地通貨に両替したうえ購入代金の全額が為替リスクにさらされるという点です。

特に日本においては、外国株式の購入時には最低手数料が設定されていることが多く、1口といった少額取引の場合、取引コストの割合が上がってしまい利益が目減りしてしまうという不利な条件になりがちです。

トライオート ETF では、インヴァスト証券が得意とする差金決済の仕組みを利用し、これらの課題を解決しました。さらに、1万円という少額から始められる設計にすることで、資産運用にかけるとまった資金がない若い世代の方でも、気軽にこの世界的に評価されている金融商品へのアクセスを可能にする金融サービスをご提供いたします。

トライオート ETF では、これらの特徴を基礎に自動売買をはじめとしたインヴァスト独自のメリットを加え、資産運用に資する様々な付加価値を今後益々盛り込んでいく予定です。

※1. 参考資料①世界のETF資産残高 ※2. 参考資料②投資信託に関する認知事項

インヴァスト証券ホームページ URL : <http://www.invast.jp/>

(参考資料)

参考資料① 世界のETF資産残高の推移



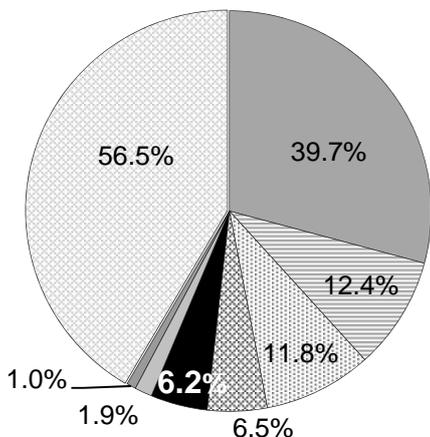
※1 米ドル=100円にて算出

2005年に42.8兆円だった世界のETF資産残高は、2015年時点で約7倍の296兆円に拡大。ETFの本数は、2005年の524本から2015年の5,867本と約11倍に増加。

※出所：BlackRock「BLACKROCK GLOBAL ETP LANDSCAPE」(2016年2月) データより当社が作成

参考資料② 平成 27 年度（2015 年）証券投資に関する全国調査より

日本の投資信託に関する認知事項について



- 専門家が投資・運用するものだ
- ▨ 公社債投信と株式投信に分けられる
- ▩ 分散投資でリスクを減らすことができる
- ▧ 定期積立の仕組みとして累積投資がある
- 上場株式と同様に売買できる上場投資信託（ETF）がある
- ▨ 累積損益の定期通知制度が導入された
- ▨ 運用報告書の記載事項が見直された
- 知っていることはない

全国の 20 歳以上の男女 7,000 名を対象に投資信託の認知に関する調査において、ETF を知っていると感じた方は「6.2%」という結果。

※出所 日本証券業協会調査部「平成 27 年度 証券投資に関する全国調査」

【リスク・費用などについての重要事項】

本取引は、対象とする銘柄の価格変動や、金利等、外国為替の価格変動、原市場の状況および原資産の発行者による信用状況の悪化等により損失が生ずるおそれがあります。保有ポジションについては、金利・貸株料調整額や分配相当額の受払いが発生する場合があります。当社は、有効証拠金率が一定水準以下となった場合、全建玉を自動的に強制決済（ロスカット）いたしますが、本取引は、預託すべき証拠金額以上の取引が可能のため、急激な相場の変動等によっては、証拠金の額を上回る損失が発生するおそれがあります。原市場が定める上場廃止基準に該当して、上場廃止となる場合があります。

- ・ 売買手数料は、オートパイロット注文については発注代金の 0.3%（税込）徴収します。マニュアル注文およびロスカット注文については無料です。
- ・ 本取引は、各銘柄の売付けの価格と買付けの価格に差(スプレッド)があり、相場急変時等はスプレッドが拡大する場合があります。
- ・ 証拠金は、レバレッジなしの場合、1 口あたり想定元本の円換算額の 100%以上で、証拠金の最大 1 倍までお取引が可能です。お客様の申し出により、最大 5 倍（20%以上）までのお取引が可能となる場合があります。
- ・ 本取引は、元本および収益が保証された取引ではありません。お取引にあたっては、本取引の仕組み、内容およびリスクを十分にご理解いただいたうえで、お客様ご自身の責任と判断でお取引いただきますようお願いいたします。

【トライオート ETF に関する重要事項】

- ・ オートパイロット注文を手動で決済する場合の注文は成行注文のみ可能です。
- ・ 相場状況やシステム回線等の状況により、注文がエラーとなり発注および約定しない可能性があります。注文がエラーとなった場合、再発注されません。
- ・ オートパイロット注文にて建玉を保有している場合は、お客様自身で成行決済を行っていただく必要がございます。
- ・ オートパイロット注文は、建玉数量の一部を決済することはできません。
- ・ 複数の注文を行う場合、利益が大きくなる可能性がある反面、損失が拡大する可能性がございます。
- ・ オートパイロット注文で設定された注文は、相場状況等によっては設定した価格と発注価格が大きく乖離する可能性があります。
- ・ オートパイロット注文で発注された注文の変更・取消には、制限がございます。

本社所在地： 東京都港区西新橋一丁目 6 番 21 号 NBF 虎ノ門ビル
 代表者： 代表取締役社長 川路 猛
 資本金： 59 億 6,508 万円 設立： 昭和 35(1960)年 8 月 10 日
 事業内容： 金融商品取引業 登録番号： 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 26 号
 加入協会： 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会